



インスピレーションになるう

高岡 北
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創 立・1980年5月19日	会 長 幸塚 栄三
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認 証・1980年6月12日	幹 事 荻布 雅章
	国内創立順位・1489	会報委員長 藤川 正司

第1736回 例会 3月 11日(日)

◇点 鐘

◇ソング “奉仕の理想”

◇ゲスト並びにピシターのご紹介

ゲスト：高岡向陵高等学校 インターアクトクラブ

顧問教諭 薬師 陽子 様

3年生 白鳥 イルサハニーフ さん

セーハ エリサ さん

1年生 大窪 春己 さん

米山記念奨学生 ゴルロワ・ソフィア さん

◇会長挨拶並びに報告

今日は、高岡向陵高校の薬師先生とインターアクトクラブの生徒さん、それにソフィアさん、雨の降っている中、ようこそお越しくださいました。

最近痛ましい事件がありまして、千葉県のある小学4年生の女の子が、両親から虐待を受けて亡くなりました。昔読んだ芥川龍之介の本で、トロッコというものがあり、その登場人物で主人公の少年は、村のはずれにあるトロッコを見るのが好きだったので、いつも見に行っていました。ある日、2人の工事の人とトロッコを押していったら、来たことのない道まで来てしまいました。工事の人は夕暮れになったので、少年に帰宅するように言いました。少年は自分ひとりで帰らなければならなくなったので、非常に心細くなり、半ベソをかきながら線路沿いを走り、村の明かりが見えた時ほっとしたのですが、とりあえず家まで急ぎ帰りました。家に着いた時、お母さんが何事かと出てきて、半ベソをかいていた少年を抱きしめました。少年は、それまでこらえていたのですが、大声でわっと泣き出しました。それを見てお母さんは慰めました。

このような家庭は大変あたたかい家庭です。子供を抱きしめる、この行為は少年にとって安住の地です。それが、先ほどの女の子にとっては、真逆の冷たい家に戻らなければならない。助かるチャンスもありました。学校

や福祉施設も察知していたのに、その芽を摘んでしまいました。かわいそうです。

最近は、家に帰っても所在がなく、家に帰らない人が多くいると報道されています。私はそれは間違っていると思います。何かあったら、子供を抱きしめる、抱きしめることができる家庭が、古臭い考えかもしれませんが、あったかいのではないかと思います。

*本日は、東日本大震災が発生してちょうど8年目となります。犠牲者を悼み黙祷を捧げます。= 黙祷 =
*米山記念奨学生 ゴルロワ・ソフィアさんに最後の奨学金をお渡しします。～ 一言挨拶 ～

皆さんこんにちは。今までは緊張していたのですが、ゆっくりと手短かに最後の報告をしたいと思います。

今日は、最後のお別れの例会になります。非常に悲しい気持ちです。この2年間、在留期間の半分ですが、ロータリーのおかげで大変スムーズな生活を行うことができました。高岡北ロータリークラブの奨学生となり、大変うれしく思います。皆様にこの日まで大変親切にいただきありがとうございます。多分これから、ベジタリアンや宇宙人の恰好などする留学生はあまりいないと思います。あと、いまだに就職活動をしています。多分3月までには決まると思います。これからもロシアと日本の懸け橋となるために、科学を通して頑張りたいと思います。皆様にいままでロシア語を教えたことがありませんが、今回一言教えたいと思います。よくお土産を買うときにロシアでは「愛をこめて」という意味で使います。よかったら一緒に言って下さい。「ヤリュブリュー」

今まで本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



◇本日のプログラム (担当：インターアクト委員会)

卓話「インターアクト活動報告」

高岡向陵高等学校 インターアクトクラブ

国際部の活動目的は、英語をはじめとする言語能力の向上と異文化の理解、国際交流と外国語を通しての地域貢献です。主な活動はALTの



先生と英語学習、クッキングなど、学童保育ことしでの月に1回ALTの先生と一緒に英語のレッスンをします。アレッセ高岡の活動の一環で外国語による動画の作成をしています。顧問の先生は薬師先生、7月まではシヨーン先生、今はブラウン先生です。それでは、今年度の活動を紹介します。いつもは英語でおしゃべりをしたり、外国にルーツのある生徒が多いので、それぞれの国の話をしたりして、異文化と交流をしています。地域貢献活動としては、夏休みに学校開放講座や、子供たちに英語講座を開催したり、毎月1回、ブラウン先生と英語講座をしています。また、伏木港に入港した船員の方の通訳ボランティアをしています。高岡北RCの皆さんと植樹活動をしたり、インターアクト協議会にも参加させていただいています。とても貴重な経験でした。アレッセ高岡の活動の一環として、ポルトガル語、中国語、易しい日本語での学習動画を作成しています。

私たちの強みである、ポルトガル語や、ウルドゥー語といった言語能力、異文化への理解を生かして、これからますます多様化する異文化交流に貢献出来たらと思います。



最後に、私たちの進路ですが、まず、私は(白鳥さん)大学に進学し、初等教育を学び、教員を目指します。外国籍であることから起こる子供たちの様々な事柄の助けになりたいと思います。外国籍の子供たちをサポートする取り組みを続けて、国際交流できるイベントなどを開催したいと思います。これらの活動を通して、コミュニケーション能力を高め、リーダーシップを身に付けていきたいと思っています。

私は(セーハさん)、大学に進学し、マーケティングを学び、それにより楽しい商品を開発したいと思っています。その商品を通して海外と日本をつなぐような仕事をしたいと思っています。進学をしたいと思ったきっかけは、

日本はシンプルで使いやすいパッケージが多く消費者を楽しませることができます。その楽しさを海外の方々にも味わってもらいたいと思います。また、自分の言語能力を通して、通訳などをしたいと思います。大学卒業後は母国のブラジルに帰り、大学で学んだことを生かしたいです。日本生まれ日本育ちである私でも、日本語を学ぶ苦労がありましたので、母国に帰ってボランティア活動など、現地の方々にも日本語を教えたいと思っています。

私からは(大窪くん)、今後の国際部の活動を報告します。これからの国際部は、今まで以上に国際的な活動に取り組もうと考えています。それはボランティアだったりチャリティーだったり様々です。その中でも特に取り組みたいのは、高岡をはじめとする富山の各市町村の外国語版PR動画の作成や、観光産業の活性化です。北陸新幹線が平成27年に開業し、東京やその周辺、全国的にも足を運びやすくなりました。しかし、本当に富山県はその力を十分に活用しているでしょうか。そこで、外国人に直接PRするような、外国語版のPR動画を高校生が目線で製作したり、直接外国人にツアーの案内をするなど、私たちの外国語能力を生かして直接観光客の増加に貢献したいと考えています。

◇幹事報告

- 1) 本日例会終了後、「3月定例理事会」を開催いたします。ご確認ください。
- 2) 次回、3月18日(月)例会は、例会取消です。
- 3) 配布：①ガバナー月信 NO.9
②会報NO.26
③4/8(月)高岡西RCとの合同懇親夜間例会のご案内

◇ニコニコBOX報告

幸塚会長：先日在籍表彰を頂きました。有難うございます。荻布幹事：高岡向陵高校の皆さん、卓話よろしくお願ひ申し上げます。

新森慎之助君：孫二人(女子)国立大学合格でハッピーハッピー

勝山 功君：長い間、例会を欠席しましたお詫び

金森哲司君：おでん電車にて吉谷さん、魚住さんにお世話になりました。イチコ大変おいしかったです。誕生日祝いを頂きまして

山辺知代君：結婚記念日のお花をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

藤川正司君：早退のおわび!!

【今年度ニコBOX累計額 387,000円】

◇出席報告

名誉会員	会員数	本日の出席率	2/25例会修正出席率
1名	39名	78.79 %	67.86 %